

藤野衆院議員も名立、桑取の被災現場へ

日本共産党の藤野やすふみ衆院議員（北陸信越ブロック）は20日午後、上越市議団のメンバーとともに名立区東蒲生田（写真上）と桑取地区の北谷（写真下）などの被災現場を視察しました。

東蒲生田の現場は、13日にも市

議団で見えています。藤野議員は地滑りの規模の大きさにびっくり、対策の強化に力を尽くす決意を示していました。

桑取の北谷の土石流や桑取川左岸の山の地滑り現場も市議団メンバーが13日に見た場所です。今回は地元の3町内会長さんから説明をしていただきました。

北谷では、Yさん宅のすぐそばを流れる小さな普通河川が、上流から大量の土砂を運び、住宅の周辺や市道は土砂で埋まりました。そして車庫から車が出せないだけでなく、生活排水も機能せず、お風呂も入れない、トイレも使えないなど日々の暮らしに大きな影響を与えていました。

農林水産整備課をはじめ行政側と対応について話し合った結果、県が市と協力して責任を持って対応するとのことでしたが、「23日には復旧工事に着手する」という情報が22日朝、入ってきました。これでひと安心です。



地元の皆さんから早期復旧と土石流対策を要望され、日本共産党市議団は早速翌21日、行政側に働きかけました。

市政報告会は29日

市議団主催の報告会は29日18時30分から大湯地区公民館で開催します。ご参加ください。

「核のゴミ」地層処分を考える

政府は原子力発電所から出る使用済み核燃料などを地下300メートルに埋めて処分する計画を進めています。上越市の一部もこの処分に「好ましい地域」とされています。安全性はどうか、どう処分すべきか、一緒に考えてみませんか。

日時：11月6日（金）19時00分から
場所：上越市民プラザ2階
講師：金井克明さん（地学団体研究会会員）
主催：つなげよう脱原発の輪 上越の会

悪天候はねのけ、平和展実施

市民プラザで12日、13日と行われた「平和のための戦争展」は台風19号の大きな影響があったにもかかわらず、100人ほどの人たちが参加しました。

今回は「沖縄に見る日米安保の実態」が企画テーマ。沖縄の基地の実態などを詳しく紹介したパネルが展示され、田中淳哉弁護士による講演などが行われました。新潟大学の立石雅昭名誉教授による辺野古新基地の断層や地盤調査の報告は台風の関係で中止となり、DVD上映に切り

替えられました。

参加者からは、「田中弁護士の辺野古新基地の話がわかりやすく、とても為になった」「パネル展示は1回きりということではもったいない。小冊子にできないか」などの声が寄せられました。

写真は新婦人の皆さんが作成した詩のパネル。これも評判でした。

写真は12日、橋爪撮影

（写真は12日、橋爪撮影）



日本共産党上越市議員団ニュース

No.644 2019年10月27日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)